

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

宝ホールディングス株式会社（証券コード:2531）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- 宝グループの持株会社。酒類・調味料事業（宝酒造）の他、海外酒類および日本食材卸事業（宝酒造インターナショナル）、バイオ事業（タカラバイオ）などを展開する。宝酒造インターナショナルはM&Aなどを通じネットワーク拡充を進めており、24年11月にはドイツの食材卸会社であるカーグレー社を買収した。タカラバイオは研究用試薬において国内やアジアで高いプレゼンスを有する。同社は上場会社のため一定の独立性があるが、グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 良好な事業基盤に変化はなく、業績は安定的に推移する見通しである。タカラバイオはライフサイエンス市場の低迷長期化が業績の悪材料となっているが、グループの成長戦略における重要性に変化はない。また、宝酒造はコストアップの影響がある中、価格改定や重点ブランドの強化により収益性は改善してきている。宝酒造インターナショナルの業績は基盤拡充を背景に成長軌道で推移しており、引き続き、こうした方向性を維持できるとみられる。グループ全体で実質無借金を維持するなど財務構成は良好である。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 25/3期の営業利益は257億円（前期比15.5%増）と増益の計画。宝酒造では為替影響や運送費の上昇はあるものの、価格改定などにより吸収していく想定である。宝酒造インターナショナルでは売上高の増加が続くほか、タカラバイオも前期比では一般研究用試薬の販売回復などが見込まれ、全体として増益となる見通しである。26/3期以降も世界的な日本食市場の拡大を背景に宝酒造インターナショナルが全体の業績をけん引することで、安定した利益成長が見込まれる。
- 25/3期第2四半期末の自己資本比率は54.0%、自己資本2,417億円。その後、カーグレー社を買収（取得価額111百万ユーロ）したものの、財務構成への影響は限定的であると考えられる。今後はタカラバイオでは遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟の建設を進めているほか、宝酒造インターナショナルでは事業拡大のための投資が想定される。しかし、グループの各事業で安定したキャッシュフロー創出力があることなどから、引き続き、良好な財務構成を維持できる見通しである。

（担当）藤田 剛志・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：宝ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年4月25日	2027年4月23日	0.315%	A+
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2021年11月26日	2026年11月26日	0.100%	A+
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2021年11月26日	2031年11月26日	0.270%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	200 億円	2023 年 2 月 21 日から 2 年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2025 年 1 月 28 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「食品」（2021 年 6 月 1 日）、「持株会社の格付方法」（2015 年 1 月 26 日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003 年 7 月 1 日）として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 宝ホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル